

地理歴史・公民・数学

(1～46ページ)

注 意

- 試験開始の合図があるまで、問題用紙を開いてはいけません。
- この問題用紙には、次の4科目の問題が収められています。
 政治・経済(1～17ページ)
 日本史(19～30ページ)
 世界史(31～38ページ)
 数 学(39～46ページ)
- 4科目の中から1科目を選択し、解答は解答用紙にマークしなさい。解答用紙は4科目共通なので、科目によっては使用しない解答欄があります。
- 解答用紙に受験番号・氏名・選択科目を記入しなさい。
 受験番号と選択科目は、下記の「受験番号欄記入例」「選択科目欄記入例」に従って正確にマークしなさい。
- 試験時間は **60分** です。
- 試験開始後、問題用紙に不備(ページのふぞろい・印刷不鮮明など)があったら申し出なさい。
- 問題の内容についての質問には、いっさい応じられません。

解答用紙の受験番号欄記入例・選択科目欄記入例

数字の位置	受 験 番 号				
	万	千	百	十	一
	2	/	9	0	/
0	/	0	0	●	0
1	①	●	①	①	●
2	●	②	②	②	②
3	③	③	③	③	③
4	④	④	④	④	④
5	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
6	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥
7	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦
8	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧
9	⑨	⑨	●	⑨	⑨

「日本史」を選択した場合

選 択 科 目
○ ● ○ ○
政治・経済 日本史 世界史 数 学

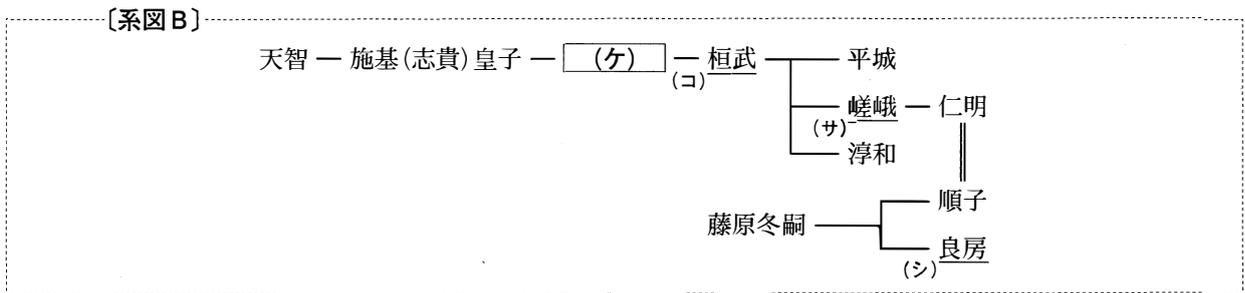
↑必ずマークしなさい

マーク式解答欄記入上の注意

- 解答は、HBの黒鉛筆を使用して丁寧にマークしなさい。
 《マーク例》
 良い例 ●
 悪い例 ◊ ○ ⊗ ◐ ○
- 訂正する場合は、プラスチック消しゴムで、きれいにマークを消し取りなさい。
- 所定の記入欄以外には、何も記入してはいけません。
- 解答用紙を汚したり、折り曲げたりしてはいけません。

- 5 下線部(キ)に関する説明文として最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。
- 1. 諸国に国分寺をつくらせた。
 - 2. 『懷風藻』に漢詩がおさめられている。
 - 3. 芸亭を設け、好学の人々に開放した。
 - 4. 平城宮内に邸宅を設けた。

- 6 下線部(ク)を擁立した人物として最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。
- 1. 藤原広嗣
 - 2. 藤原仲麻呂
 - 3. 藤原仲成
 - 4. 藤原武智麻呂



- 7 空欄(ケ)に入るべき人物として最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。
- 1. 陽成天皇
 - 2. 早良親王
 - 3. 光仁天皇
 - 4. 大友皇子

- 8 下線部(コ)に関する説明文として最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。
- 1. 班田の期間を12年に1回に改めた。
 - 2. 公出挙の利息を3割から5割に増やした。
 - 3. 雑徭の期間を30日から60日に増やした。
 - 4. 乾元大宝を発行した。

- 9 下線部(サ)に関する説明文として最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。
- 1. 三跡(蹟)の一人として知られ、在位中に『古今和歌集』が編纂された。
 - 2. 三跡(蹟)の一人として知られ、在位中に弘仁格式が編纂された。
 - 3. 三筆の一人として知られ、在位中に『古今和歌集』が編纂された。
 - 4. 三筆の一人として知られ、在位中に弘仁格式が編纂された。

- 10 下線部(シ)に関する説明文として最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。
- 1. 光孝天皇の関白となった。
 - 2. 清和天皇の関白となった。
 - 3. 光孝天皇の摂政となった。
 - 4. 清和天皇の摂政となった。

Ⅱ 次の〔文章A〕・〔文章B〕を読み、〔略地図C〕をみて、11～20の問いに答えなさい。

〔文章A〕

武家政権の成立した鎌倉時代には、土地の支配に地頭が強く関わるようになった。伯耆国東郷荘の下地中分図では、荘園内の田地、山野などに境界線が引かれて「領家分」と「地頭分」に分けられ、そこに当時の執権と連署の*花押が認められる。ここから東郷荘の領主である京都松尾社と地頭との間で下地中分が成立し、幕府がそれを公認していたことがわかる。一方紀伊国の「〔工〕百姓等訴状」では、地頭の非法を荘園内の百姓らが訴えており、そこには「ミミヲキリ、ハナヲソギ(耳を切り、鼻を削ぎ)」という地頭の百姓らに対する脅しがなされていたことが記されている。

*花押一文書に書く本人の署名を文様化したもの。

11 下線部(ア)に関する説明文として最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

1. 1185年に源頼朝が設置した地頭は、平氏追討を目的としたものだった。
2. 承久の乱後に置かれた新補地頭には、加徴米の徴収権が認められた。
3. 荘園領主に対抗する地頭や新興武士の中には、郎党と呼ばれるものも現れた。
4. 14世紀半ばに出された半済令により、地頭の権限はさらに強化された。

12 下線部(イ)の「連署」も含む鎌倉幕府の機構の設置年代を古いものから順に並べたものとして最も適切なものを、次の1～6から1つ選びなさい。

1. 引付の設置 → 連署の設置 → 六波羅探題の設置
2. 引付の設置 → 六波羅探題の設置 → 連署の設置
3. 連署の設置 → 引付の設置 → 六波羅探題の設置
4. 連署の設置 → 六波羅探題の設置 → 引付の設置
5. 六波羅探題の設置 → 連署の設置 → 引付の設置
6. 六波羅探題の設置 → 引付の設置 → 連署の設置

13 下線部(ウ)に関する説明文aとbの正誤の組み合わせとして最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

- a. 下地中分とは、荘園領主に対し地頭が年貢納入義務の半分を請け負うものである。
b. 荘園領主の中には下地中分後の地頭の干渉を抑えるため、不入の権を得る者もあった。

1. a・bとも正文である。
2. aは正文でありbは誤文である。
3. aは誤文でありbは正文である。
4. a・bとも誤文である。

14 空欄〔工〕に入る語句として最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

1. 鹿子木荘
2. 官省符荘
3. 柿田荘
4. 阿氏河荘

[文章B]

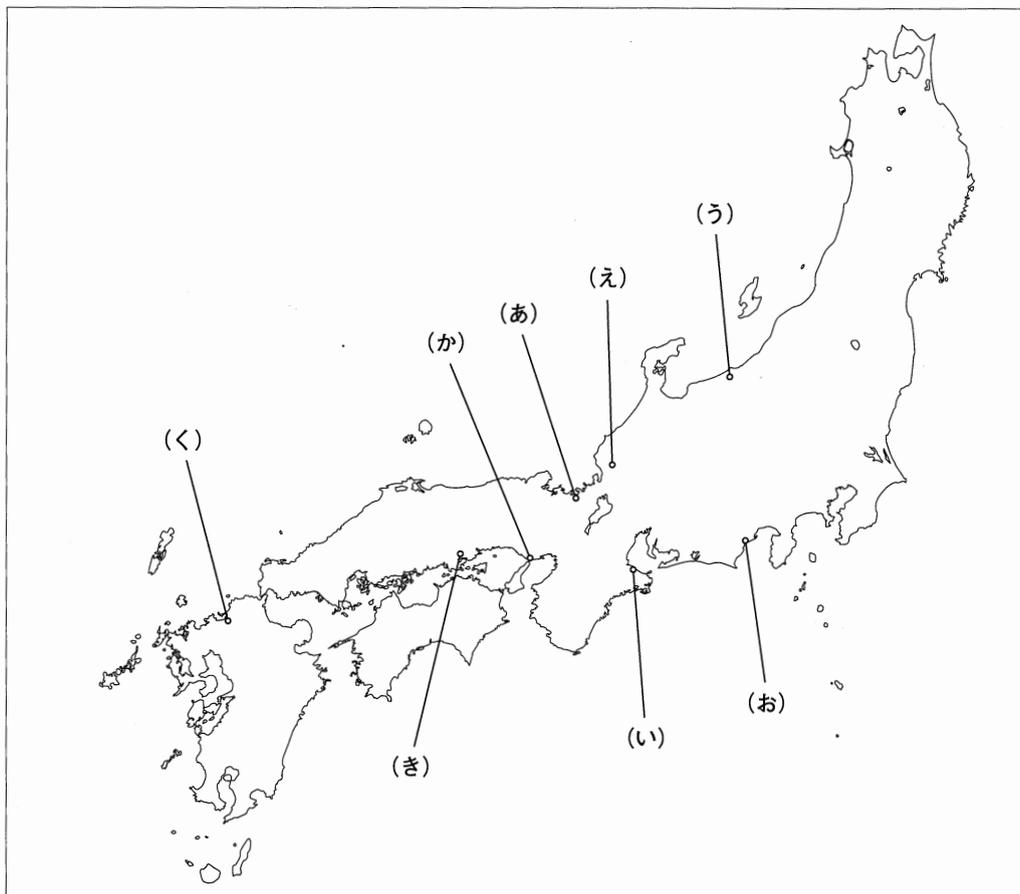
室町時代には稲作をはじめとする農業技術が向上し、これをうけて商品経済が活発化した。交通路も発達し、東大寺が管理する兵庫北関に関する帳簿には、関に入る船の積荷品目や関銭などの記録があり、西日本から京・畿内に多くの物資が運ばれていたことがわかる。都市の発展もこの時代の特徴である。特に堺と博多は、日明貿易の根拠地として発展した。平安遷都以来の政治都市である京都では、町という自治的な組織が生まれた。

- 15 下線部(オ)に関連する説明文として最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。
1. 下総国では手賀沼の新田開発がおこなわれた。
 2. 東日本では二毛作に加えて三毛作も行われ、その後西日本にも普及した。
 3. 大唐米という多収穫の品種が普及した。
 4. 牛馬を使った耕作が行われるとともに、木製農具が普及した。
- 16 下線部(カ)に関連して、室町幕府の財源に関する説明文として最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。
1. 日明貿易の利益である津料は大きな財源となった。
 2. 一国単位で課せられる歳役という臨時税もあった。
 3. 庶民に課せられた段銭、棟別銭は、幕府の恒常的な財源である。
 4. 直轄領である御料所からの年貢も幕府の経済的基盤になった。
- 17 下線部(キ)に関する以下の説明文の空欄(c)・(d)に入る語句の組み合わせとして最も適切なものを、次の1～6から1つ選びなさい。

堺や博多は自治都市としても知られ、堺では(c)、博多では(d)の合議による自治が行われた。

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 1. (c) — 奉公衆 (d) — 月行事 | 2. (c) — 奉公衆 (d) — 一年行司 |
| 3. (c) — 一年 寄 (d) — 月行事 | 4. (c) — 一年 寄 (d) — 一年行司 |
| 5. (c) — 一会合衆 (d) — 月行事 | 6. (c) — 一会合衆 (d) — 一年行司 |

〔略地図C〕



18 〔略地図C〕のうち、中世の港町を示す(あ)と(い)の地名の組み合わせとして最も適切なものを、次の1～6から1つ選びなさい。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. (あ)―大湊 (い)―小浜 | 2. (あ)―大湊 (い)―十三湊 |
| 3. (あ)―小浜 (い)―大湊 | 4. (あ)―小浜 (い)―十三湊 |
| 5. (あ)―十三湊 (い)―大湊 | 6. (あ)―十三湊 (い)―小浜 |

19 〔略地図C〕の(う)と(え)の場所に関する説明文aとbの正誤の組み合わせとして最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

- a. (う)は「塵芥集」を作った戦国大名の城下町である。
b. (え)は善光寺を中心に栄えた門前町である。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. a・bとも正文である。 | 2. aは正文でありbは誤文である。 |
| 3. aは誤文でありbは正文である。 | 4. a・bとも誤文である。 |

20 〔略地図C〕のうち、『一遍上人絵伝』に描かれている福岡の市がある場所はどこか。最も適切なものを次の1～4から1つ選びなさい。

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. (お) | 2. (か) | 3. (き) | 4. (く) |
|--------|--------|--------|--------|

[文章B]

江戸時代の陸上交通では、幕府は五街道^(工)を直轄として、街道の一里塚や関所を整備した。宿場での宿泊施設で、一般庶民が主に利用したものは〔オ〕と呼ばれた。

一方、水上交通は大量の物資輸送に利用された。海上交通^(カ)では、江戸と大坂をむすぶ海路として南海路が確立した。17世紀の半ば頃には、木綿や油などを運ぶ菱垣廻船や、主に酒を運ぶ樽廻船などが定期的に運航されていた。

24 下線部(工)に関連する説明文aとbの正誤の組み合わせとして最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

- a. 『奥の細道』は、与謝蕪村が東海道を旅した時のことを著した紀行文である。
- b. 東海道には、伝馬役として、各宿駅に人足100人・馬100疋を常備する原則がある。

- 1. a・bとも正文である。
- 2. aは正文でありbは誤文である。
- 3. aは誤文でありbは正文である。
- 4. a・bとも誤文である。

25 空欄〔オ〕に入る語句として最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

- 1. 本陣
- 2. 問屋場
- 3. 脇本陣
- 4. 旅籠

26 下線部(カ)に関する説明文として最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

- 1. 「下り荷」とは、南海路を使って江戸から大坂へ送られる物資のことを指す。
- 2. 西廻り航路や東廻り航路を整備したのは、京都商人の角倉了以である。
- 3. 江戸・大坂間の輸送や取引を円滑にするため、十組問屋や二十四組問屋が作られた。
- 4. 菱垣廻船が就航したことにより、菱垣廻船の輸送量が樽廻船を圧倒するようになった。

[文章C]

天保の飢饉により米価が高騰し、甲斐国の〔キ〕や三河国の〔ク〕のような一揆や騒動、打ちこわしが相次いで起こった。都市部でおこった大塩平八郎^(ケ)による民衆らを動員した武装蜂起は、直轄地での事件であったため幕府関係者に衝撃を与えた。国内騒擾や外国船来航^(コ)などに対応するため、幕府は権力強化のための改革を進めた。一方、諸藩でも天保期前後に、財政再建や藩権力強化をめざす改革^(サ)をおこなった。

27 空欄〔キ〕・〔ク〕に入る語句として最も適切なものを、次の1～6から1つ選びなさい。

- 1. 〔キ〕一郡内一揆 〔ク〕一加茂一揆
- 2. 〔キ〕一加茂一揆 〔ク〕一元文一揆
- 3. 〔キ〕一元文一揆 〔ク〕一郡内一揆
- 4. 〔キ〕一加茂一揆 〔ク〕一郡内一揆
- 5. 〔キ〕一郡内一揆 〔ク〕一元文一揆
- 6. 〔キ〕一元文一揆 〔ク〕一加茂一揆

28 下線部(ケ)の影響を受けて越後で蜂起した人物として最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

- 1. 由井正雪
- 2. 佐倉惣五郎
- 3. 生田万
- 4. 礪茂左衛門

29 下線部(コ)に関連する説明文として最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

1. フェートン号事件をきっかけにして、幕府は東蝦夷地を永久直轄地とした。
2. ラクスマンは、レザノフが持ち帰った入港許可書をもって根室へ来航した。
3. 箱館・松前に抑留されたゴローウニンの釈放に協力したのが、大黒屋光太夫だった。
4. ベリーが来航する前に、アメリカ東インド艦隊の司令官であるビッドルが浦賀に現れた。

30 下線部(サ)に関連する説明文aとbの正誤の組み合わせとして最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

- | |
|--|
| a. 佐賀藩では均田制を実施し、直轄地の小作料納入を猶予するなど、本百姓体制の再建を図った。 |
| b. 薩摩藩では越荷方を置き、諸国の廻船からの商品の委託販売をおこない、藩の収益を上げた。 |

1. a・bとも正文である。
2. aは正文でありbは誤文である。
3. aは誤文でありbは正文である。
4. a・bとも誤文である。

IV 次の〔史料A〕～〔史料C〕を読み、**31**～**45**の問いに答えなさい(史料は一部省略したり、書き改めたところもある)。

〔史料A〕

今般憲法発布式を挙行政ありて大日本帝国憲法、及び之に付随する諸法令を公布せられたり。謹て惟ふに、^(ア)明治十四年十月詔を下して二十三年を期し、^(イ)国会を開く旨を宣言せられ、爾来政府は孜々として立憲準備の事を務め、昨年四月^(エ)枢密院設立の後、直に憲法、及諸法令の草案を同院に下され、会議毎に、聖上臨御ましまし深く宸慮を尽し親く裁定あらせられたり。(略) 憲法は敢て臣民の一辞を容るゝ所に非ざるは勿論なり。唯だ施政上の意見は人々其所説を異にし、其の合同する者相投じて団結をなし、所謂^(オ)政党なる者の社会に存立するは亦情勢の免れざる所なり。然れども政府は常に一定の方向を取り、超然として政党の外に立ち、至公至正の道に居らざる可らず。各員宜く意を此に留め、不偏不党の心を以て人民に臨み、撫馭宜しきを得、以て国家隆盛の治を助けんことを勉むべきなり。

〔『大日本憲政史』〕

31 〔史料A〕の演説を行った人物に関する説明文として最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

1. 大蔵卿として西南戦争後の紙幣整理や日本銀行の設立を主導した。
2. 民撰議院設立建白書の提出者の一人で、政府の援助のもと板垣退助と海外を視察した。
3. 開拓使の長官をつとめ、日朝修好条規締結時の日本側代表の一人となった。
4. 演説において「主権線」である国境だけでなく、朝鮮半島を含む「利益線」防衛の必要性を説いた。

32 下線部(ア)に関連する説明文として最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

1. ドイツ人顧問ロエスレルの助言のもと、井上馨、山県有朋らが起草に当たった。
2. 天皇大権には、陸海軍の統帥、文武官の任免、戒厳(令)の宣告が含まれる。
3. 国務大臣は連帯して議会に対して責任を負うものと定められた。
4. 国民は「臣民」と呼ばれ、財産権の不可侵、信教の自由が無制限に保障された。

33 下線部(イ)が出された時に起きた政変で参議を罷免された人物に関する説明文として最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

1. 財政難に対処するため、官営事業の民間への売却方針を決定した。
2. 外務大臣として列国代表をあつめて条約改正会議を開催した。
3. 勝海舟とともに遣米使節団の随員としてアメリカを訪問した。
4. 陸軍大臣・海軍大臣の現役規定を削除し、予備役・後備役の大・中将まで範囲を広げた。

